

4 今後の推進方策

中間評価の結果、策定時より悪化した指標などは、計画の最終年度である平成 34(2022)年度に向けて、今後、改善すべき課題と捉え、対策を講じていく必要があるとともに、県民の健康づくりに関する新しい課題にも対応していく必要があります。

○ あいち健康の森健康科学総合センターの役割と活用

「あいち健康の森健康科学総合センター（通称：あいち健康プラザ）」は、これまでの「研究開発実践機能」や「指導者養成機能」、「研究開発機能」、「交流・支援機能」を活かし、今後も、県民の健康づくりを支援する中心施設の役割を担うとともに、住民と直接関わる市町村の健康づくり事業への支援を始め、県民の健康づくりの推進を図ります。

○ 今後の県の取組の方向性

計画の最終年度に向け、市町村、医療保険者を始め企業、医療機関など、関係機関・関係団体と連携し、一次予防である発症予防、二次予防である早期発見、三次予防である重症化予防の各段階に応じた新たな取組と事業展開により、推進体制の充実強化を図り、計画の基本目標である「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」、「健康長寿あいちの実現」を達成できるよう努めます。

【体系図 推進体制】

